



おめでとうござります!!

社内実践のもと複合機をはじめ社内のレイ
同軸化」を掲げ、オフィスショールームの
事業のものと複合機をはじめ社内のレイ

祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.24



皆さんには商品を手
に取るとき、何を大
事にしますか？

近頃、「エシカル消
費」という言葉を耳にするようになります。
た。今期社内のSDGsキーパーソンに立
候補し、さらに意識するようになりました。

私は旅行に行くのが好きで、その土地の
名産品を選ぶこと。食べるなどを大事にし
ています。それもエシカル消費の一つ。
その商品が今までどのような背景があ
り、今目の前にあるか、今後どのようにな
るのか。そんなことを考えながら、商品を
手に取るようになりました。私が勤めてい
るコーチャンでも『SDGs』と事業の

五里霧中だからこそ今できること

リコージャパン 佐藤萌さん

※「エシカル消費」＝地域の活性化
や雇用などを含む、人・社会・地域
環境に配慮した消費行動のこと

アウトなどを提案しています。

特に主力製品である複合機は、再生プラ
スチックを約50%使用しており、複合機を
販売することでお客様と一緒にSDGsの
輪を広げています。現在、コロナウイルス
に加え地球温暖化、水害など先の見えない
時代だからこそ、後世にバトンをつなぐべ
く社会とのつながりを大事にしたいもの。

お客様の働き方に合わせて先を見据えた
オフィスの提案をしていくことが私のSD
Gs宣言です。現在サステナ经
営検定取得に向けて勉強してお
り、さらに社会や顧客に選ばれ
く社会とのつながりを大事にしたいもの。



エンジェルパサー
は、多賀城市にある
編集と出版の仕事を
している小さな会社

です。言葉とデザインを大切にし、伝わる
コンテンツづくり、読み継がれる本づくり
に取り組んでいます。

弊社では、コロナ禍のもと、書籍『暮ら
しナチュラリスト入門』(川村康子著)を
改訂し、生活の中で重そうなど天然素材を
使うことの大切さを改めて提示しました。
また、『岩手謎学漂流記』(高橋政彦著)では、
岩手県内50カ所にまつわる“謎”を切り口
に各地の伝承文化を紹介。

さらには、グローバルな視点から音楽の
意味を問い合わせた『僕たちの音楽案内』
(榎原光裕ほか共著)を出版するなど、出

まずは「ジブンゴト」が第一歩！

山大 本郷友恵さん

DGsを身近に感じら
れる工夫を社内につ
くります！

今回みやぎSDGs塾に参加し、異業種
の方々と関わることで多くのことを学びま
した。特に印象に残ったことは、同じ塾仲
間のリコージャパン様とともに、同社の
見学オフィスを訪問させていただいた時の
ことです。社内では、ゴミの分別の徹底、工
コキヤップ活動やフードバンクなどの取り
組みが日常の空間の中に溶け込み、上手な
工夫と社員の意識の高さを感じました。

そこから取り組み方について参考となる
情報をいただいたり、塾以外での交流にも
つながり、本当に良い出会いとなりました。
まさに「17番のパートナーシップ」です。企



私は、社員がSD
Gs塾に参加し、異業種

の方々と関わることで多くのことを学びま
した。特に印象に残ったことは、同じ塾仲
間のリコージャパン様とともに、同社の
見学オフィスを訪問させていただいた時の
ことです。社内では、ゴミの分別の徹底、工
コキヤップ活動やフードバンクなどの取り
組みが日常の空間の中に溶け込み、上手な
工夫と社員の意識の高さを感じました。

そこから取り組み方について参考となる
情報をいただいたり、塾以外での交流にも
つながり、本当に良い出会いとなりました。
まさに「17番のパートナーシップ」です。企

コンテンツの力を信じて

エンジェルパサー 杉山昌己さん

業の枠を超えての協力を感じました。
今回の活動を通して私が一番大切だと感
じたことはSDGsに取り組むための第一
歩はまずは「ジブンゴト」にするということ
です。当社は自然界での循環資源である
木材を取り扱っています。木を育て伐って
使うを長い間繰り返し、森林の循環をねこ
なってきました。事業自体がSDGsの取
り組みとも言えます。

社員はこのことに誇りを持ち、そしてSD
Gsをもっと身近なところで
も意識してほしい。そう思いま
した。まずは日頃から皆が「ジ
ブンゴト」として捉えられる工
夫を社内に取り入れていきたい
と思います。



エンジェルパサー
は、多賀城市にある
編集と出版の仕事を
している小さな会社

です。言葉とデザインを大切にし、伝わる
コンテンツづくり、読み継がれる本づくり
に取り組んでいます。

版物を通して、多様なコンテンツの創出と
発信に努めてきました。

環境や地方の文化をテーマに、著者の独
自の発想と視点から生まれ出されたものを、
書籍などの形で読者の手元にお届けする。

このことを持続可能なものとするために
は、SDGsを実践する当事者として、行
動することが大切であると考えています。

編集と出版の仕事を通じ、より多くの読
者に共感や知見を広げていくこと。さまざま
な社会課題の解決のため、身
近なところから情報提供を継続
すること。これらを目的に、コ
ンテンツの力を信じてSDGs
への取り組みを展開していくた
いと思います。

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318
✉ koukoku@po.kahoku.co.jp

賛同企業
募集中!!



国連が提唱する「SDGs(持続可能な
開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、
より豊かな地域づくりを目指す取り組
み「みやぎSDGsファーム」の基幹プロ
グラムです。SDGs活動を推進する人
材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成
するなど、2021年から河北新報社が運
営しています。

